

GX分野のディープテック・スタートアップ支援事業

産業技術環境局技術振興・大学連携推進課

国庫債務負担行為要求額 2,034億円 ※令和6年度概算要求額：407億円（新規）

事業の内容

事業目的

GXの推進にとって、スタートアップの有する革新的な技術等の活用が重要であり、GX分野のスタートアップに対する研究開発・社会実装支援の抜本的な強化が求められている。

本事業では、リスクの高いものの、中長期的な社会課題の解決にも資すると考えられる幅広い研究開発を支援し、事業会社等から高く評価される技術水準の早期確立を図る。

それを通じて、GX分野のスタートアップの有する革新的な技術の事業化を加速するとともに、事業会社との連携等を促すことで当該技術を利用した製品・サービス等の社会実装の実現に繋げていくことを目的とする。

事業概要

GX分野のスタートアップは、その技術や事業が確立するまでの研究開発に長期かつ大規模な資金を要するため、技術の事業化に長期間を要し、大きなリスクを抱えるなどといった課題に直面している。このため、GXの推進に資する形で、量産化実証を含む幅広い研究開発・社会実装支援を行う。

事業スキーム（対象者、対象行為、補助率等）



成果目標

GX分野のスタートアップの事業成長を加速させることを成果目標とする。

短期的には、支援終了後1年以内に、次シリーズでの資金調達を実施した者の割合を5割を目指す。

中期的には、商用生産等のための資金調達又は商用生産等開始に至ることを目指しつつ、長期的にはGXの推進及びスタートアップ・エコシステムの推進を目指す。